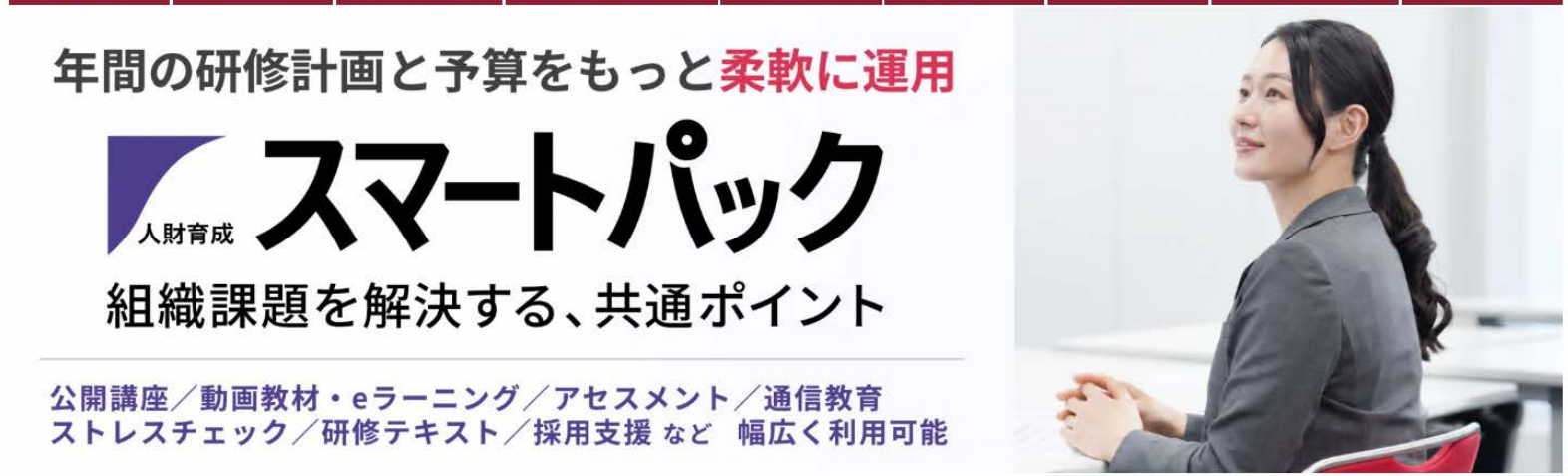
AI時代における情報発信

LLMOとは？
AIは財務省をどう語っているか？
AIにどう対峙していくべきか？

2026年11月11日
株式会社CAC identity　中西 英介

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

いきなりですが、
とある企業様のホームページを
ご覧ください



ニュースリリース　新着ＩＲ情報

PR
M&A担当者が押さえるべき法務知識を学ぶ無料セミナーを12月に開催 ～経営企画部門・事業開発部門・法務部門向けに弁護士がわかりやすく解説

2026.09.28　PR
「アートの力・早暁NEXT展2026」開催のお知らせ ～11月13日（金）～20日（金）の会期で作品を展示・販売

2026.09.28　新商品
階層別タイムマネジメント研修を４本開発 ～新人から管理職層までの課題に対応、2026年10月より公開講座開始

2026.09.25　新サービス
全社員の生成AI活用レベルを可視化「生成AI利活用テスト」提供開始 ～５つの観点から強み・課題を把握し、次の教育施策へ

2026.09.18　新商品
AI時代の新入社員に必要な力を育てる研修を新たに10本開発 ～2026年10月から提供、思考力とコミュニケーション力を育成

最新情報一覧へ





最新作・ニュース

【無料特典付き】新任昇格者スキルアップキャンペーン
公開講座キャンペーン　2026年9月7日更新

学び続ける組織をつくる～個人の学びを組織の成長につなげる
まとめ　2026年10月13日更新

厳選した学びをまとめてお届け「動画教材セットプラン」

動画教材　2026年9月17日更新

公開講座

＜課題解決ワークセッション＞教育体系ツールをつくろう！（２日間）
会員 549,000円／1開催
2026年07月08日更新

研修担当者レベルアップ研修～質の高い社内教育を実現する
会員 41,000～48,800円／33開催
2026年07月24日更新

研修設計入門～効果測定につなげる研修企画の基礎理論・手法を学ぶ
会員 48,800円／15開催
2026年02月10日更新

（半日研修）研修講師養成研修～オンライン研修編
会員 24,400円／1開催
2026年03月06日更新

研修講師養成研修～講師経験者のための研修スキル向上編
会員 37,700円／17開催
2026年07月31日更新

動画教材

社内講師養成講座
2024年10月23日更新

【DXリテラシー標準シリーズ】デジタル時代の「マインド・スタンス…
2026年02月05日更新

研修講師養成講座～良い講師に必要な「組み立てる力」「教える力」「…
2026年03月27日更新

【動画教材セットプラン】【DXリテラシー標準シリーズ】デジタル時…
2026年08月21日更新

【DX推進者シリーズ】課題設定力講座～全社的な課題を見極めて最適…
2026年06月22日更新

ITサービス

Leaf企業内大学～人の可能性を最大

研修の特徴・目的

1. 職場のデジタル化は進んだ。従業員のデジタル対応はどうか

✔ 従来の階層別研修がデジタル時代に合わなくなってきている

遅ればせながら、わが国でもデジタルトランスフォーメーションが徐々に浸透し、組織の中にはデジタルスキルを身に付けた人材が続々と増えています。そんな中で、仕事の進め方やマネジメントの仕方だけが"古いバージョン"のままになっていないでしょうか？

この状況に順応するためには、これまでとの本質的な違いを理解したうえで、今求められているビジネススキルやマインドを階層ごとにあらためて見直す必要があります。そして、階層ごとにテーマを掲げてプログラム化し、教育をしていくことが不可欠です。

✔ デジタル時代を特徴づける「９つの変化」

デジタル化の進展に伴いこれまでの仕事の常識は大きく変わりつつあります。カギとなるのは、変化への迅速な対応です。組織再編が頻繁に起こり人材の流動性が高まっている中、新しい技術やトレンドを取り入れながら変化に適応し、経営判断や業務進行ができなければ、組織運営はもちろん、人材の確保・定着にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

変化の常態化

安定した環境の下で計画通りに業務を行うことはもはや叶わず、常に変化する環境の下でいかにそれに適応していくかが問われる

人材の流動化

早いサイクルで業務が変化する中、求められる人の入れ替わりも激しくなり、選び選ばれる関係の新たな雇用コミュニティへとシフトする

働き方の非同期化

リモートワークの進展によって時間や場所にとらわれない働き方が当たり前となり、非同期的に遂行される仕事の管理力が求められる

セルフマネジメント化

組織が丸抱えで従業員の面倒を見ることはなくなり、自律的なキャリア形成と、主体的なスキルアップが各人に求められるようになる

組織のフラット化

上位下達を前提とした「ピラミッド型」の組織から、個を活かしつつ迅速で柔軟な判断・行動ができる「なべぶた型」の組織へと変化している

業務のプロジェクト化

定常業務の遂行・管理をベースにした組織マネジメントから、プロジェクトの遂行・管理をベースにしたチームマネジメントへと主軸が移る

コラボレーション化

あらゆる業務が組織横断的に行われるようになり、異なる立場の者同士の協働を通じた価値創造が重視されるようになる

アジャイル化

「スピード」と「変化への対応」が重視される中、小さく始めていち早く形にし、修正を重ねながら完成へと近づけるスタイルが主流となる

データドリブン化

仕事の優先順位付けから経営判断に至るまで、あらゆる意思決定においてデータが活用され、その読解スキルが問われるようになる

PAGE TOP

閉じる
お問合せ
商談予約

文字多っ！？

本日は

我々が意識すべき新たな“視点”、AIの話

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

自己紹介



中西 英介 なかにしえいすけ

株式会社CAC identity

代表取締役社長

創業60年/売上505億円/従業員数4,764名の

歴史ある企業が

AIに全振りするために創った会社

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

本日テーマにするのは、LLMO

① 生成AIへの検索、質問 → ② AIが情報源を選ぶ → ③ 回答する

LLMO ＝ ②のAIの情報源として

③のAIの回答に

より“正しく”“多く”選ばれるための取り組み

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

先ほどのインソース社のHP

AIはデザインや画像を見ていない



Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

先ほどのインソース社のHP

AIに文字量は関係ない。全量を一瞬で読む

✔ 従来の階層別研修がデジタル時代に合わなくなってきている

遅ればせながら、わが国でもデジタルトランスフォーメーションが徐々に浸透し、組織の中にはデジタルスキルを身に付けた人材が続々と増えています。そんな中で、仕事の進め方やマネジメントの仕方だけが"古いバージョン"のままになっていないでしょうか？

この状況に順応するためには、これまでとの本質的な違いを理解したうえで、今求められているビジネススキルやマインドを階層ごとにあらためて見直す必要があります。そして、階層ごとにテーマを掲げてプログラム化し、教育をしていくことが不可欠です。

✔ デジタル時代を特徴づける「９つの変化」

デジタル化の進展に伴いこれまでの仕事の常識は大きく変わりつつあります。カギとなるのは、変化への迅速な対応です。組織再編が頻繁に起こり人材の流動性が高まっている中、新しい技術やトレンドを取り入れながら変化に適応し、経営判断や業務進行ができなければ、組織運営はもちろん、人材の確保・定着にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

変化の常態化 安定した環境の下で計画通りに業務を行うことはもはや叶わず、常に変化する環境の下でいかにそれに適応していくかが問われる	**人材の流動化** 早いサイクルで業務が変化する中、求められる人の入れ替わりも激しくなり、選び選ばれる関係の新たな雇用コミュニティへとシフトする	**働き方の非同期化** リモートワークの進展によって時間や場所にとらわれない働き方が当たり前となり、非同期的に遂行される仕事の管理力が求められる
セルフマネジメント化 組織が丸抱えで従業員の面倒を見ることはなくなり、自律的なキャリア形成と、主体的なスキルアップが各人に求められるようになる	**組織のフラット化** 上位下達を前提とした「ピラミッド型」の組織から、個を活かしつつ迅速で柔軟な判断・行動ができる「なべぶた型」の組織へと変化している	**業務のプロジェクト化** 定常業務の遂行・管理をベースにした組織マネジメントから、プロジェクトの遂行・管理をベースにしたチームマネジメントへと主軸が移る
コラボレーション化	**アジャイル化**	**データドリブン化**

先ほどのインソース社のHP

AIは更新情報が大好物

注目テーマ１ 生成ＡＩ活用

キャンペーン中！ＡＩによる教育の自動化～AI BOAT

ITサービス　2026年10月13日更新



ＡＩ時代のビジネススキルシリーズ



まとめ　2026年7月14日更新

ＡＩと働く研修シリーズ～知見と生成ＡＩの融合



まとめ　2026年10月19日更新

ネオゼネラリスト養成研修～ＡＩ時代をリードするために



公開講座　2026年9月25日更新

ＡＩが働く人の成長を支える～最新ＡＩサービス６選



ITサービス　2026年9月14日更新

ＡＸ理解研修～生成ＡＩによる業務改善を組織変革へ



講師派遣　2026年9月18日更新

全社ＡＩ活用コンサルティング



コンサル　2026年9月17日更新

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

『文字多っ！？見づらい・・・』の理由

人間をメイン“ターゲット”にしていなかった

“AI”をメイン“ターゲット”に設計されていた

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

LLMOについて

国民の2人に1人が、検索にAIを使っている

根拠｜サイバーエージェント GEOラボ 調査（2026年8月、全国15～69歳 9,278人、ネット調査）

52.3%

検索にAIを使う人
（2025年5月は21.3%）

46.6%

AIと検索の併用者のうち
検索の半分以上をAIに切り替えた人

40代でも初めて過半数（50.2%）。若い人だけの話ではない。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

大元のページは開かれなくなってきている

根拠｜Ahrefs 調査（日本、情報を調べるための検索、検索1位のクリック率、2026年6月）

24.1%

AI要約がない場合の
クリック率（予測）

9.0%

AI要約が出たときの
クリック率（実測）

クリック率は62.7%減。半年前（−38%）から大幅に悪化

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

AIの答えが、そのまま”回答”になる時代

1	開かない	答えを読んで終わり。根拠のリンクは開かれない
2	選ばれる	AIが選んだ回答を、そのまま受け取る
3	届かない	AIに選ばれなかった情報は、認知されない

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

LLM(生成AI)の回答の流れ

学習した知識
過去のデータ
ある時点で止まっている

＋

最近LLMは、答える前に検索する

その場で読むページ
今の情報
Webを検索して読む

＝

回答

↑ 引用根拠として検索ページが示される

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

LLMOとは、何をするのか？

LLMO

AIの答えに、
正しく選ばれ、
正しく回答されるための
総合的な取り組み

SEOのAI版です。

1	測る	AIにどのように認識されているか測る
2	整える	根拠、引用元に選ばれやすく整理する
3	更新する	サイト上の説明ページを常に最新に保つ
4	置く	引用しやすい一次情報を用意する

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

（参考）人は、なぜAIの回答を信じるのか

仮説

AIを用いた検索で根拠ページが見られなくなっている。答えを受け入れるのはなぜか？私は、3つの理由があると考えています。

中立

広告と違い、誰かの意図が入らないため

博識

人間では集めきれない量の情報を根拠にしている

時短

そもそもAIに聞くのは調べる時間を省きたいから根拠まで見てられない



ただし、AIは本当に今後も「中立」なのでしょうか？
ChatGPTは2026年6月から、日本でも広告の表示を始めました
（回答には影響しないと説明しています）

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

（参考）今後、インターフェースがAI前提に変わる



仮説

- **いま**　スマホやPCで、AIに聞いて読む
- **次**　ヒューマノイドやウェアラブルなど多様なユーザインターフェースが登場
- **その先**　手続きや買い物自体も代行する

AIの中立性がますます大事に、、、

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

財務省の情報発信について

「財務省」に関して、AIに30問尋ねた

ChatGPTとGoogle検索のAI要約に同じ質問を30問。国民が普通に聞きそうな質問のみ。誘導や批判的な質問はなし

1 財務省はどんな組織？役割と担当政策は
2 主な業務・所管分野は
3 強みや、他の省庁との違いは
4 「日本の財政関係資料」の内容と入手先は
5 mof.go.jpは誰が何のために使う？
6 金融庁・日本銀行との役割の違いは
7 財務省の情報を参照すべき理由・注意点は
8 財務省の仕事は国民生活とどう関わる？
9 最近公表した主な発表や取り組みは
10 代表的な資料・刊行物は
11 理念「国の信用を守り…」の意味は
12 財政の持続可能性のための役割は
13 財政教育の取り組みはある？
14 情報公開・政策説明の取り組みは
15 G7・G20・IMFでの役割は
16 英語での情報発信は
17 広報誌「ファイナンス」の内容と対象は
18 最近力を入れている政策テーマは
19 財政状況は財務省・日銀・内閣府のどれを見る？
20 税金は財務省と国税庁のどちらで調べる？
21 国の借金を理解するにはどの資料？
22 消費税の使い道や税率をどう説明している？
23 自分の税金の使われ方を調べる方法は
24 子ども・中高生向けの教材は
25 財務省を名乗る電話・メールの見分け方は
26 公式SNSでは何を発信している？
27 採用区分・人物像・働き方は（学生）
28 財務省で働く魅力は
29 統計や会見を調べるにはどこを見る？
30 個人向け国債、サイトで何が分かる？

2026年10月14～15日に取得。全文は巻末A1

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

答えを、3つの観点で解析

1

情報源

何を根拠に答えたか

2

何が語られたか

どんな内容で回答したか

3

情報鮮度

最新の情報で答えたか

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

AIは、しっかり財務省のサイトを根拠にした

観点①　情報源｜財務省のサイトを根拠に答えているか

ChatGPT

29 ／30問

Google検索のAI要約

22 ／30問

引用されたURLの73%が、財務省のサイト

424件中311件

Googleの8問は、正確には7問が引用なし（うちQ27は回答自体なし）、Q6「金融庁・日銀との違い」は就活メディア2サイトを根拠にした。

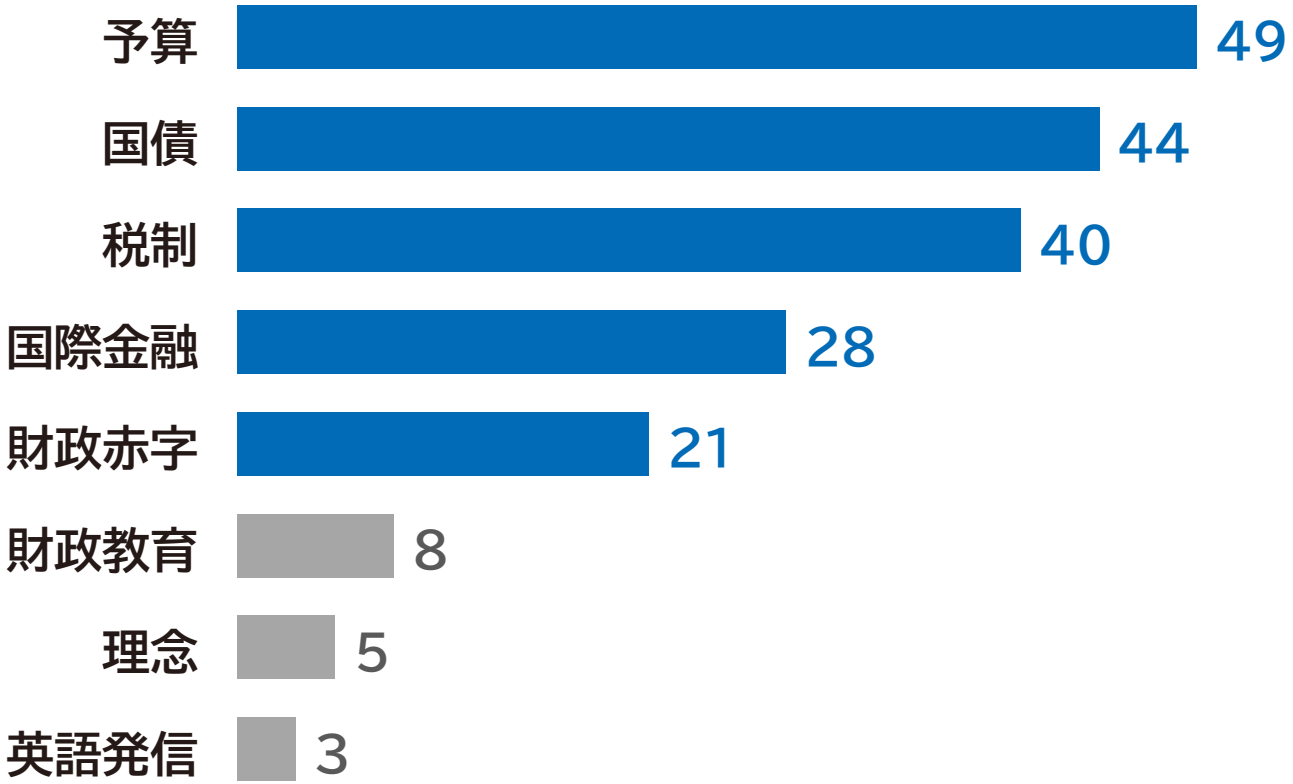
【要確認・担当者】
① ChatGPTが財務省サイトを引用しなかった1問はどれか
② Googleの8問の内訳（質問番号）

情報源の点では、当然だが、財務省はすでにAIに選ばれている。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

確認した範囲では、記載の範囲で回答している

観点②　何が語られたか｜60回答に出てきた話題の数



書いてあることは、
そのまま回答される

一方で、まとまったページが少ない理念や財政教育は、ほとんど回答に登場しない

回答は中立

確認した範囲では、事実にない回答はなし。SNSなどの情報も引用なし。
＝しっかりHP等に記載、更新しないと引用されない

確認した範囲では、回答は財務省の公開情報を根拠にしている。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

更新情報はAIに認知される。ただし、条件付き

観点③　情報鮮度｜最新の情報で答えているか

✓ ニュースを聞かれたとき

Q9「最近公表した主な発表は？」

10/9	→	10/14
掲載		AIが回答

数日で、答えに反映された

△ 制度を聞かれたとき

Q22「消費税の使い道や税率は？」

新着ページ	消費税の概要・Q&A
使われず	こちらが根拠

臨時引下げは、答えに出ない

AIの情報鮮度は、制度の根拠となるページの鮮度で決まる。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

結果：確認した範囲では、公開情報を根拠にしている

Q7　財務省の情報を参照すべき理由は？

“報道やSNSで「増税が決まった」などを見たとき、公式資料に戻って、何が決定済みで、何が議論中なのかを確かめる基準になる”

ChatGPTの回答（抜粋）

1 AIの根拠は、財務省のサイトを参照

回答の73%が公式情報を参考にしている

2 書かれている通りに回答される

掲載情報どおりに回答している

3 新着だけでは制度の答えは変わらない

ニュースを聞かれれば新着は数日で答えに入る。
制度を聞かれると、AIは説明ページ（概要・Q&A）を根拠にするため、そこを直さなければ古い説明のまま答える。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

情報発信についてとるべき対策

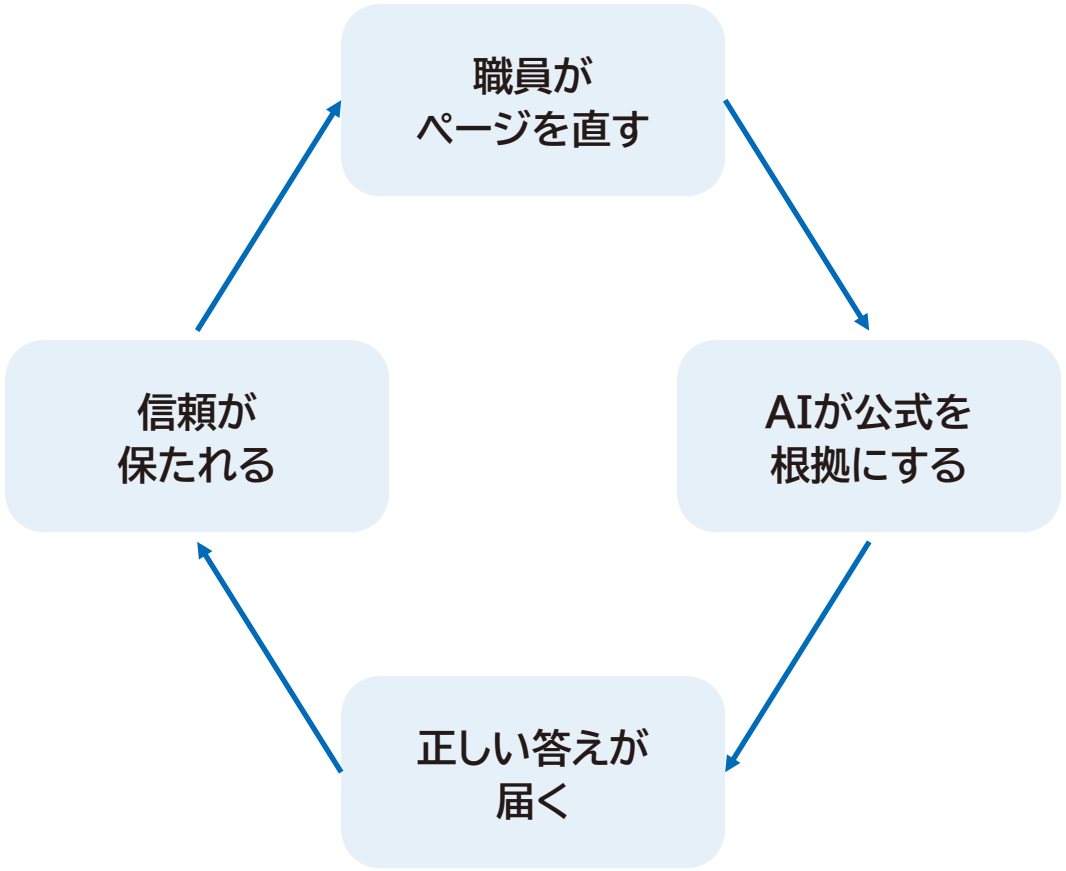
企業と行政では、AIとの向き合い方が異なる

	企業	行政
目的	選ばれて、競合に勝つ	正しく、最新に語られる
相手	狙った顧客に絞れる	国民全員。AIを使わない人も
優先	速さ・話題性	公平・網羅・中立

行政は、AIのためだけに、情報公開できない。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

今の正しさは、人の手で支えられている（だろう）



逆に回ると：更新が遅れる → 古い答えが届く → 不信

AIが根拠にした財務省のページ

約1,400

2026年9月時点・参考値

改正、情報更新のたびに、
人の手で即座に直し続けられるか？

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

英国の事例：AIの回答は、古いページの料金

英国ビジネス貿易省（2026年4月）｜「慈善団体の設立費用は？」へのGoogle AI Overview

£13

AIの答え
（更新されていない古いページの料金）

£100

実際の料金
（2026年2月～）

財務省の消費税と同じ構造。古いページが、回答になり混乱をきたした。

出典：英国ビジネス貿易省 blog「How we're preventing AI misinformation at DBT」2026/4/20

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

各国政府は、公式情報で答える政府AIへ

国民向けに、公式情報だけを根拠に答えるAIの窓口

英国

政府AI「GOV.UK Chat」を1万人超で試験

公式コンテンツのみを根拠に回答。正答率 76% → 90%

豪州

公式のみを根拠に、出典付きで答えるAI検索

digital.gov.au にβ導入（2026年7月）

米国

2.9万の政府サイトをAI検索でまとめる入口

America.gov（2026年9月）

出典：GDS「Inside GOV.UK」2026/3/16／豪DTA 2026/7/15／米GSA 2026/9/29

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

日本も、政府自らがAIを使い始めた

2025年12月	2026年5月	2026年7月	2026年12月頃
AI基本計画	**源内の大規模実証**	**国産の基盤モデル**	**政府共通データ**
政府が先導してAIを使う	全府省庁 約18万人	源内で試用を開始	整備・提供（予定）

“実務データをAIが参照できる状態にすることは、行政へのAI実装の前提条件です。”

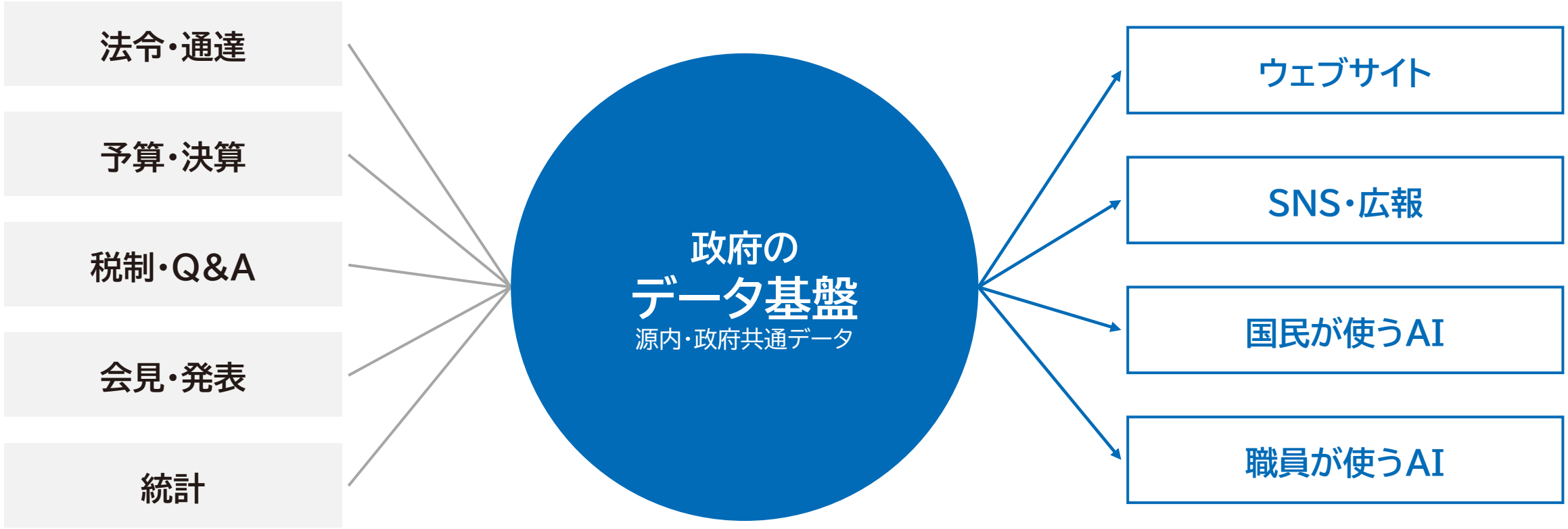
デジタル庁「ガバメントAI 源内」

AIを使う前提として、データの整備（データマネジメント）が進められている。

出典：内閣府「人工知能基本計画」／デジタル庁「ガバメントAI 源内」（2026/10/20更新）

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

財務省の知を、人もAIも参照できる基盤にする



1つの元データから、速く・正確に・わかりやすく。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

ページを直すのではなく、元データを直す

いま

ページ
人が直す

ページ
人が直す

ページ
人が直す

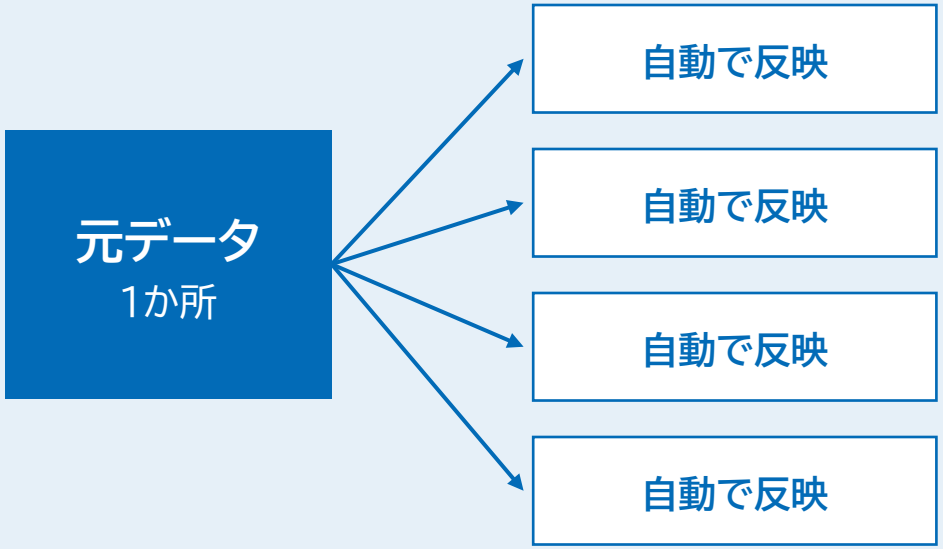
ページ
人が直す

ページ
人が直す

ページ
人が直す

改正のたびに、1枚ずつ

これから

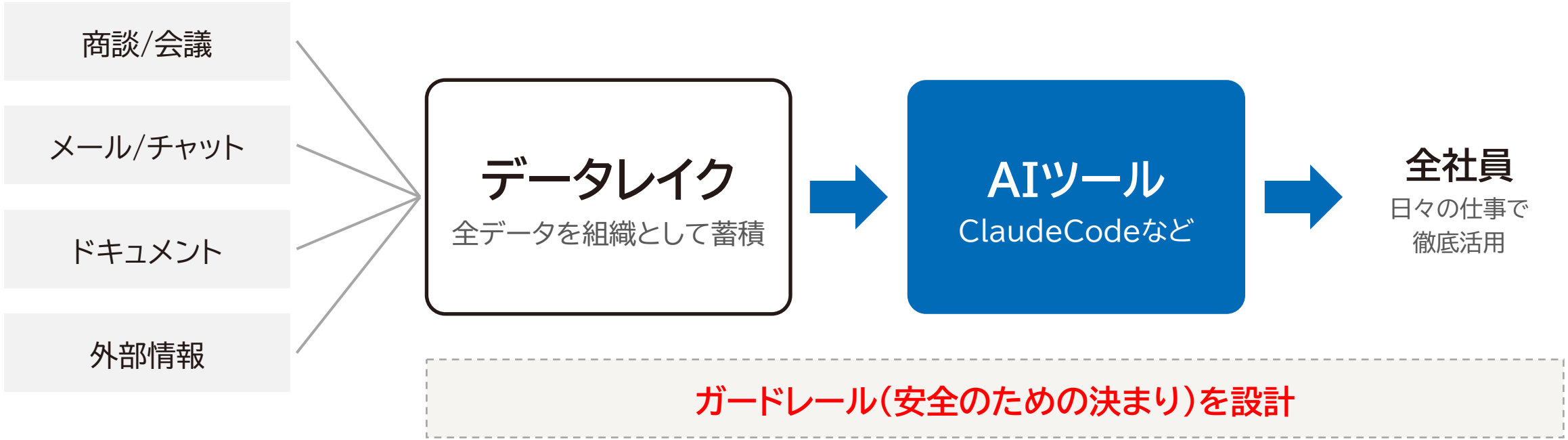


1か所直せば、全部が直る

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

当社のデータマネジメントとAIによる業務革新

CAC identityの例



個人が使うレベルから→組織全体でデータを集約しAIをベースに仕事をする、へ

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

若手の学ぶ機会は、失われなかった

懸念していたこと：「AIに任せると、若手が学ばなくなる」



若手の方が
使いこなす例もある

若手とベテランの差はむしろ
縮まった

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

それでも、AIの進化速度に追いつかない

技術は日々アップデート。情報過多

データの整備が
追いつかない

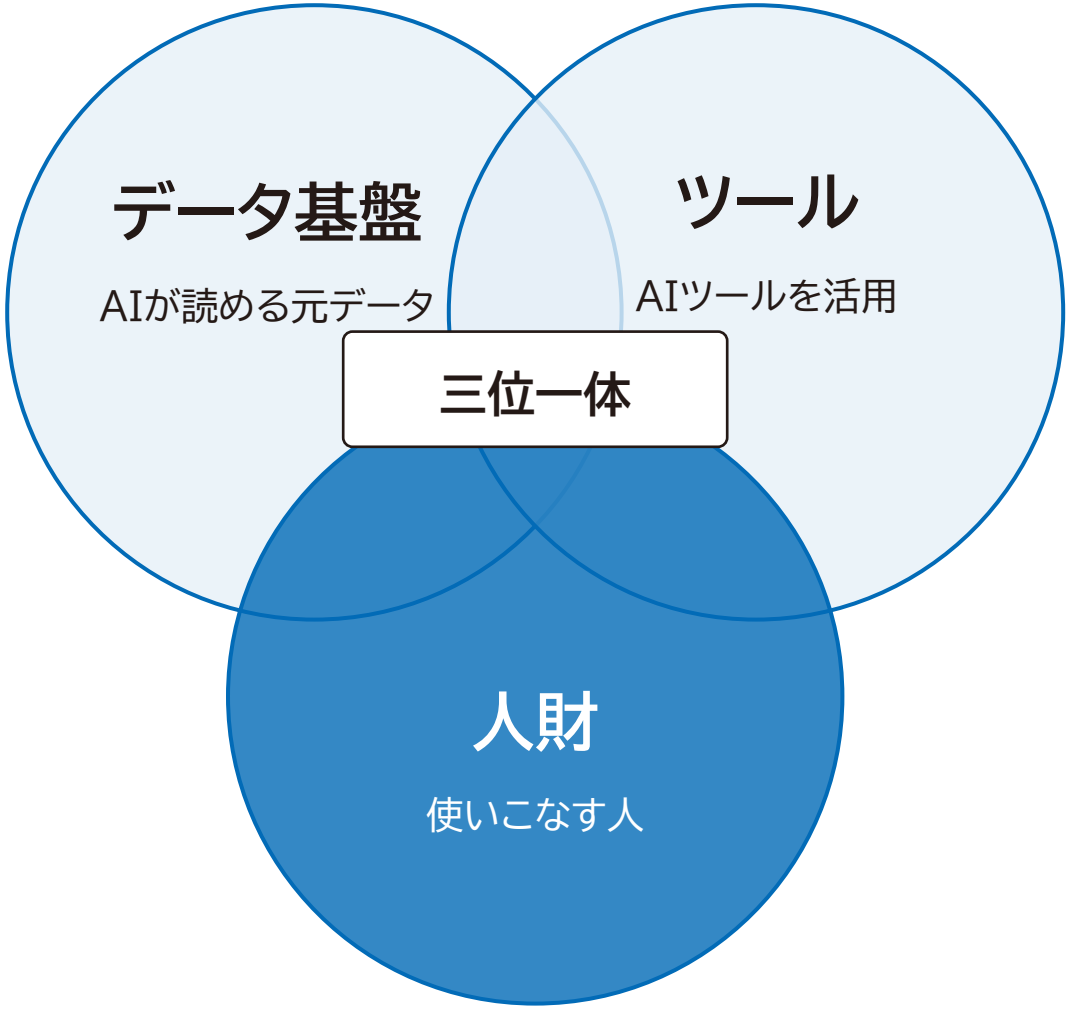
ガードレールの運用が
追いつかない

人の学びが
追いつかない

当社も、試行錯誤中。柔軟に機動的に適用していくしかない。
柔軟性、機動性を重視しつつも、情報セキュリティは堅牢に。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

AIの速度には、AIを使って追いつくしかない



AI前提で組織を、高速に駆動させる

AIが参照できるデータを準備し
ツールを介して**人が活用できる状態にする。**
AIを前提にしたデータと人材マネジメントを安全・高速に行う

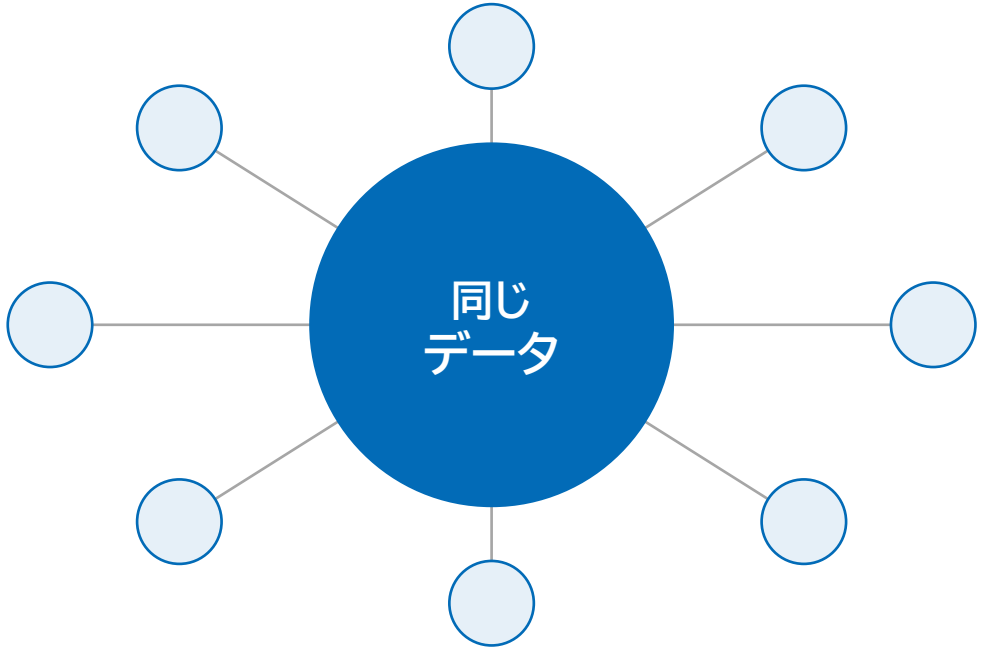
Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

全社員が、根拠と背景を把握し発信できる組織へ

いま

経緯や根拠は、
一部の人の頭の中
トップダウン

これから



全社員が、根拠を引いて発信できる

そして、人の代わりにAIAgentが即座に発信する時代へ

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

結論

行政のLLMOは、広報の技術だけではない。

国の知を、人とAIが読める形で正しく管理すること。



AIが国民の情報の入口になる時代。

その答えの正しさを支えるのは、財務省のデータマネジメントが要。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

新規領域事業紹介

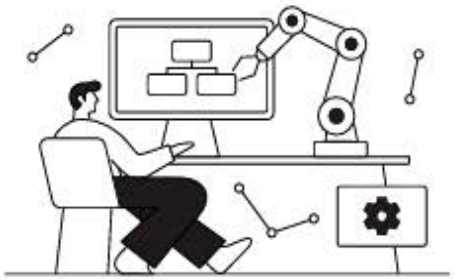


株式会社 CAC Holdings

証券コード:4725

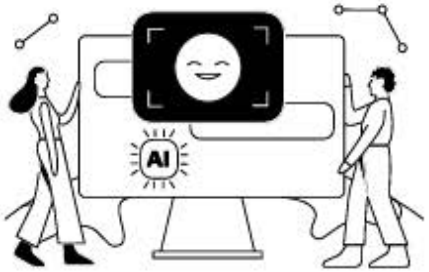
CACグループが目指すポジティブなインパクト

社会のITインフラの安定稼働を支え、技術人材の可能性を広げる



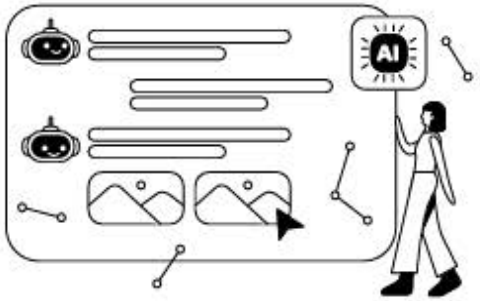
AIなどを活用したシステム開発・運用の自動化を推進し、IT人材不足という社会課題の解消に貢献します。社会のITインフラの安定稼働を支えるとともに、定型業務をAIに任せることで、人がより付加価値の高い業務や創造的な仕事に集中できる環境づくりを後押しします。

一人ひとりの可能性を広げ、創造性が発揮される未来をつくる



「人を察し・活かし・健やかにする」HC Techの考え方のもと、感情認識・画像認識・姿勢動作推定などの人間思考AI技術を活用したサービスを展展開します。人に寄り添う支援の高度化を通じて、人を中心に据えた安心・快適な社会の実現と、一人ひとりが創造性を発揮し可能性を広げられる未来に貢献します。

顧客課題を起点に、業界課題の解決と地域社会の発展へつなげる



AIとこれまで培ってきたノウハウ、顧客との信頼関係を強みに、目の前の業務課題の解決にとどまらず、イノベーションを通じて事業課題・業界課題の解決に取り組みます。顧客の持続的な成長を支えるとともに、地域産業の発展や社会課題の解決にも貢献します。

誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を後押しする



様々なバックグラウンドを持つ人材が働き、個々の価値観が尊重され、誰もが包摂される組織づくりと共創を推進します。多角的な視点を活かしたイノベーションを生み出し、幅広い顧客・生活者に寄り添う価値提供を通じて、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現に貢献します。

CAC IDENTITY

Lumicite
ルミサイト

自社のブランドを照らし、AIに正しく引用させる。

AIの答えに「正しく選ばれ、正しく語られる」状態を、計測から実装まで一気通貫でつくる
AI検索最適化（LLMO）の統合支援サービス

100+
企業・団体での実績
官公庁・上場企業・観光地域・大学 ほか

RESULTS

SaaSベンダー
40%→65%
対話型AIの回答のピックアップ率

食品メーカー ECサイト
8倍 0.8%→6.7%
AIがECサイトを引用する率

伝統工芸・店舗
1.9倍 41→78件
AIがサイトを引用した数

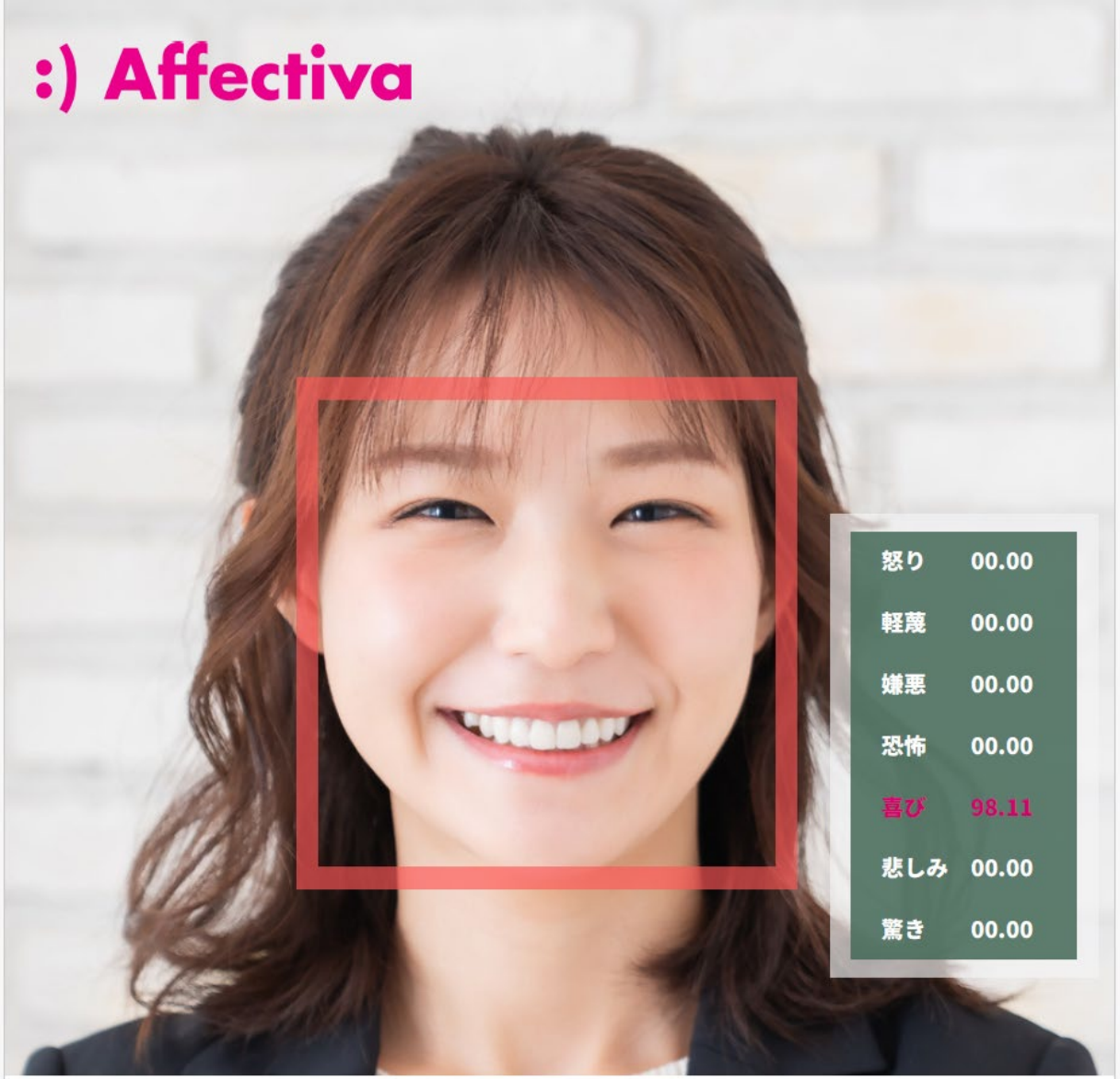
観光・DMO
3.1倍
AIを経由したサイト流入

※当社実測機関での集計結果。計測期間は支援先ごとに異なります。



Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

:) Affectiva



人の感情を認識するAI

認識技術が切り開く新しい世界

CAC IDENTITY

10種類の感情、26種類の表情、6種類の特殊指標などを瞬時に検知

10種類の感情
（0~100で検知）

1. 喜び
2. 悲しみ
3. 怒り
4. 驚き
5. センチメンタル
6. 恐怖
7. 嫌悪
8. 軽蔑
9. ニュートラル
10. 混乱

26種類の表情
（0~100で検知）

1. 注意
2. 眉を下げる
3. 眉を上げる
4. 頬を上げる
5. 顎を上げる
6. えくぼを作る
7. 目を閉じる
8. 目を見開く
9. 眉の内側を上げる
10. 顎を下げ唇を開く
11. 瞼を緊張させる
12. 唇両端を下げる
13. 唇を押さえつける
14. 唇をすぼめる
15. 唇を横に広げる
16. 唇を吸い込む
17. 口を開ける
18. 鼻にシワを寄せる
19. 笑顔
20. 作り笑い
21. 上唇を上げる
22. 瞬き
23. 瞬目率
24. 発話中
25. あくび
26. 痛み

6種類の特殊指標

1. 肯定的／否定的
（-100~100で検知）
2. 表情の豊かさ
（0~100で検知）
3. 会話エンゲージメント
4. アダプティブエンゲージメント
5. 会話バレンス
6. アダプティブバレンス

● その他
ヘッドポジション指標 など



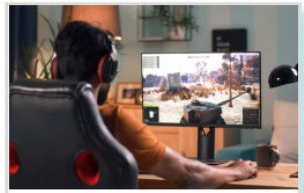
福祉支援

ARグラスで自閉症患者の感情理解を支援



教育支援

子どもの感情に寄り添う学習アプリを実現



ゲーム

感情に応じて難易度が変化するゲーム体験を実現



小売業

店頭ディスプレイで顧客の感情データを収集し売上向上

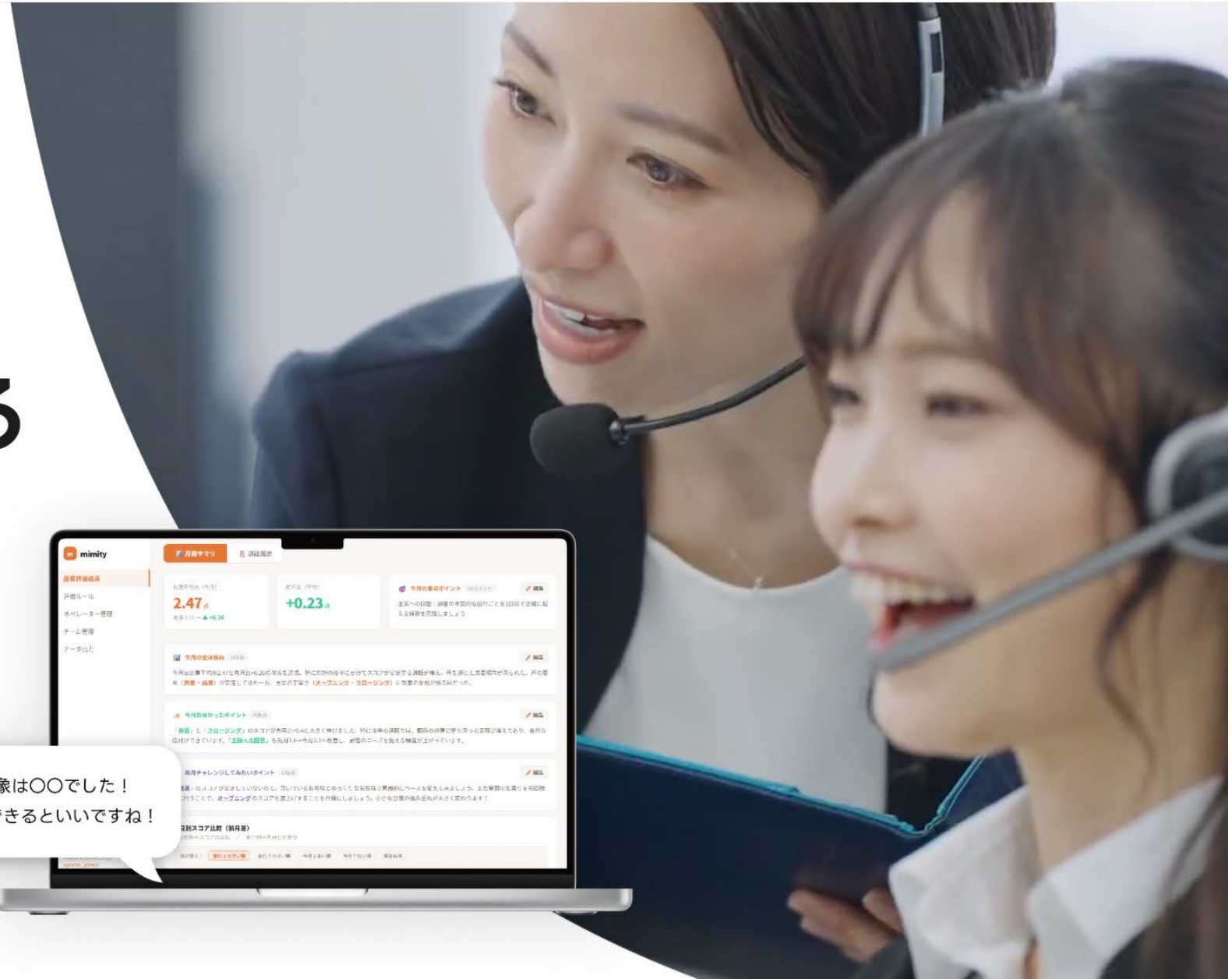
mimity　音声感情認識AIプロダクト

CAC IDENTITY

声の印象まで、応対品質を高めるAIパートナー

聴ききれない通話にも、mimityが耳をかたむける。
声の印象まで評価し、フィードバックとコーチングを支えます。

まず、話を聞いてみる　資料を受け取る



ながさきマリンファーム
NAGASAKI MARINE FARM

マリンテック事業

テクノロジーで、海の未来を拓く。







静脈インフラをITで創造する JEMS | Japan Environment Management System

廃棄物処理/サーキュラーエコノミーの情報インフラ企業(連結子会社)

廃棄物処理と資源循環の情報インフラ企業として

動脈産業、静脈産業、および官公庁・公共団体のお客様に対し、デジタル変革の実現とBPOサービスを提供しています。

企業・官公庁の業務改革、廃棄物管理のコンプライアンス、ガバナンス強化、資源循環の推進、災害復興などを
各種コンサルティング、システムインテグレーション(SI)、BPOを通じて支援します。
JEMSは、サーキュラーエコノミー社会への移行を促進し、経済活動と地球環境の共生を目指します。



Appendix

A1. 30問(1/3)財務省に関する基本的な質問

1. 財務省はどんな組織ですか？役割と担当している政策を教えてください。
2. 財務省の主な業務・所管分野(予算、税制、国債、関税など)は何ですか？
3. 財務省の強みや、他の省庁と比べて特徴的な点は何ですか？
4. 財務省が公表する「日本の財政関係資料」はどんな内容ですか？どこで読めますか？
5. 財務省のウェブサイト(mof.go.jp)はどんな人がどんな目的で使うサイトですか？
6. 財務省と金融庁・日本銀行の役割の違いは何ですか？
7. 財政や税について調べるとき、財務省の情報を参照すべき理由・注意点は何ですか？
8. 財務省の仕事は国民の生活とどう関わっていますか？具体例で教えてください。
9. 財務省が最近公表した主な発表や取り組みを教えてください。
10. 財務省の公式サイトで公開されている代表的な資料・刊行物にはどんなものがありますか？

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

A1. 30問(2/3)財務省の役割や情報発信

11. 財務省の理念「国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ」とはどういう意味ですか？
12. 財務省は日本の財政の持続可能性のためにどんな役割を果たしていますか？
13. 財務省は財政教育や、国民に財政を分かりやすく伝える取り組みをしていますか？
14. 財務省はどのような情報公開・政策説明の取り組みをしていますか？
15. 国際金融(G7・G20・IMF)の場で財務省はどんな役割を担っていますか？
16. 財務省が発信している英語の情報(海外投資家・海外メディア向け)にはどんなものがありますか？
17. 財務省の広報誌「ファイナンス」はどんな内容の刊行物ですか？誰向けですか？
18. 財務省が最近力を入れている政策テーマや取り組みは何ですか？
19. 日本の財政状況を知りたいとき、財務省の資料と日本銀行・内閣府の資料ではどちらを見るべきですか？
20. 税金について調べるなら、財務省と国税庁のサイトのどちらが向いていますか？違いは？

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

A1. 30問(2/3)財務省の役割や情報発信

21. 国の借金や財政赤字について正しく理解したいです。財務省のどの資料を読めばいいですか？
22. 消費税の使い道や税率について、財務省はどう説明していますか？
23. 財務省のサイトで、自分が払っている税金がどう使われているか調べる方法はありますか？
24. 子どもや中高生が財政や税を学べる財務省の教材・コンテンツはありますか？
25. 財務省を名乗る電話やメールが来ました。本物かどうか見分ける方法を財務省は案内していますか？
26. 財務省の公式SNS(X・note・YouTube)ではどんな情報が発信されていますか？
27. 財務省に就職したい学生です。採用区分や求められる人物像、働き方を教えてください。
28. 財務省で働く魅力ややりがいは何だと言われていますか？
29. 記者や研究者が財務省の統計や記者会見の内容を調べるには、どこを見ればいいですか？
30. 個人向け国債を買いたいです。財務省のサイトでは何が分かりますか？証券会社の情報との違いは？

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.

A2. 出典・参照先一覧

P13　サイバーエージェント GEOラボ「生成AIのユーザー利用実態調査」2026年8月期
https://www.cyberagent.co.jp/news/detail/id=33787

P14　Ahrefs「AI概要でGoogle検索1位のCTRが半年で激減、日本−62.7%」2026年6月
https://ahrefs.com/ja/blog/ai-overviews-reduce-clicks-june-2026/

P30　英国ビジネス貿易省「How we're preventing AI misinformation at DBT」2026/4/20
https://digitaltrade.blog.gov.uk/2026/04/20/how-were-preventing-ai-misinformation-at-dbt/

P31　英国GDS「5 things we learned testing GOV.UK Chat」2026/3/16
https://insidegovuk.blog.gov.uk/2026/03/16/5-things-we-learned-testing-gov-uk-chat-an-ai-assistant-for-government/

P31　豪DTA 2026/7/15
https://www.dta.gov.au/updates/new-ai-search-enhances-access-trusted-digital-guidance

P31　米GSA news release 2026/9/29

P32　内閣府「人工知能基本計画」／デジタル庁「ガバメントAI 源内」（2026/10/20更新）

※本資料の一部画像は、生成AIを使用したイメージです。

Copyright © CAC identity Corporation All Rights Reserved.